

# JAしみず 平成28年度上半期 経営状況のご案内

## 1. JAの地域貢献

当JAは組合員の皆様はもとより、管内の住民の皆様とともに助け合い、発展していく地域に根差した協同組合です。「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立するという経営理念のもと、農業の発展や豊かな地域社会の実現に貢献することを目的とするとともに、併せて地域から愛されるJAを目指し、金融共済や営農経済をはじめ総合的な事業活動を行い、皆様の日々のお仕事や暮らしのお手伝いをしています。

平成28年度は自己改革を着実に実践するとともに、「次代へつなぐ協同の力」をテーマとして掲げた3か年計画の最終年度にあたります。組合員・生産者の皆様の要望・期待に応えるため、農産物の市場外流通の拡大やアンテナショップきらりによる地元産農産物の販売、生産資材の価格の引き下げなど、生産・販売が一体となった取り組みを強化し、農業所得の向上と生産コスト削減をめざしています。

また、仲間づくりを目的にスタートした「1地域1協同活動」が6年目を迎えました。各地域では活動を通じて「食と農」に関する理解を更に深めるとともに、地域社会に満足度の高いサービスを提供することにより、組合員・地域住民の皆様との絆をより強固なものにしています。

また、JA青壮年部、同女性部をはじめとする組合員組織と共に地域の子供たちを対象とした「食農教育」にも取り組み、「食」や「農業」の大切さを広く流布すべく、率先してその“発信役”を担っています。更に同女性部ボランティアグループは、「介護老人保健施設きよみの里」での読み聞かせや農園作業、「清水厚生病院いはらの里」での入所者搬送補助活動も行っています。

その他においては地域に身を置く組織としての社会的責任を果たすため環境保全における諸活動にも積極的に参加しており、今後も地域社会への貢献を念頭にこうした活動を継続対応してまいります。

## 2. 金融再生法開示債権(単体)

当JAの金融再生法の開示に基づく債権額は次のとおりです。  
今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：千円)

債権区分	平成28年9月末				平成28年3月末	増減
	債権額	担保・保証	引当金	保全額合計	債権額	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	780,341	696,297	84,043	780,341	873,497	▲93,156
危険債権	354,671	354,671	-	354,671	366,752	▲12,080
要管理債権	412,836	329,661	-	329,661	247,300	165,536
合計	1,547,849	1,380,631	84,043	1,464,674	1,487,550	60,299

注：1. 平成28年9月末の計数は、平成28年8月末を基準日として行った自己査定結果(債務者区分及び債権額)を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
信用事業に係る総与信(貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替(以下、同様))のうち、自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。
- ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。  
信用事業に係る総与信のうち、自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。
- ③「要管理債権」とは、3月以上延滞債権(元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3月以上延滞している貸出債権)及び貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)です。

### 3. 単体自己資本比率(国内基準適用)

当JAの自己資本比率は平成28年9月末15.27%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

平成28年9月末(見込み)	平成28年3月末
15.27%程度	15.12%

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(出資金や利益準備金、積立金、剰余金などの合計額)} \times 100}{\text{リスク・アセット(当JAの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウェイトを掛けて計算した総額)} + \text{オペレーショナル・リスク相当額}}$$

2. 平成28年9月末の自己資本比率算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、平成28年8月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

### 4. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末
貯金	265,355,549	268,063,741	271,626,037
貸出金	83,048,884	81,935,299	82,753,748
預金	168,962,004	176,936,202	178,186,717
有価証券	14,319,492	11,690,344	12,224,498

注：平成27年9月末及び平成28年9月末の残高は帳簿価額を、平成28年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

### 5. 有価証券の時価情報

(単位：千円)

	平成28年9月末			平成28年3月末		
	帳簿価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
満期保有目的の債券	1,049,242	1,081,579	32,337	1,050,677	1,083,877	33,200

(単位：千円)

	平成28年9月末			平成28年3月末		
	取得原価	時価	評価差額	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	11,256,173	12,087,141	830,967	10,036,410	11,509,121	1,472,711
株式	150,495	522,968	372,472	274,980	1,048,905	773,925
債券	10,358,106	10,818,744	460,637	9,141,021	9,824,618	683,597
受益証券	747,571	745,428	▲2,143	620,408	635,596	15,188

注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。  
2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。  
3. 平成28年9月末の含み損益・評価差額は、平成28年9月末時点の帳簿価額・取得原価との差額を表示しております。  
4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

注：本資料中に表示している金額は単位未満を切り捨てています。